

職員の勤務労働条件について（小委員会交渉）

令和5年11月24日（金）

局 側：環境局総務部職員課担当係長他

組合側：大阪市従業員労働組合環境事業支部 被服委員

（局 側）

ただいまから、去る、令和5年9月28日に自治労現業統一闘争に関する申入れを受け、同年10月17日に「長袖ポロシャツの貸与にあたっては、近年、厳しい暑熱環境下での作業となっていることを踏まえ、暑熱リスク軽減に向けた熱吸収率が低い色のポロシャツの効果を検証し、検証結果は適宜、情報提供していく」と回答したが、その検証結果をとりまとめたので、お示しする。

《 別紙 試行実施結果手交 》

長袖ポロシャツの導入にあたっては、速乾吸汗性や耐久度、収集業務等における汚れ等を勘案の上、現在の仕様としてきた。一方、今年は過去5年間と比較して7・8月の平均最高気温が高く、一層厳しい暑熱環境下での収集作業となっている。色彩による温度差は白、黄、水色がとりわけ低く、灰、赤、青は高く、緑、群青、黒が最も高温であると言われている。そこで、暑熱リスク軽減の検討に向け、白・水色のポロシャツを使用して現行の紺色と比較する試行を実施した。

まず、涼しさについてであるが、現行と比較して変わらない、分からないが82.5%を占め、紺色との涼しさの差はほとんどない結果となった。

次に汚れであるが、白・水色は作業での汚れが目立ち、洗濯しても汚れが残るなど現行よりもすごく気になる又は気になるが90.0%を占める結果となった。

最後に透け感であるが、汗をかくとかなり透ける、体のラインもはっきり出るなどすごく気になる・気になるが62.5%を占めている。

こうした結果から、現行の紺色のままでよい、紺色のままがよいとの意見が多数であり、試行実施した白・水色は効果・ニーズが低い結果となった。

今回の試行実施結果を受け、白・水色のポロシャツ導入はメリットが乏しく、見送りたいと考えている。

（組合側）

検証結果内容及び導入見送りについて、了解した。

今後も引き続き、被服の改善に努められるよう要請しておく。

(局 側)

今後も引き続き、職員の作業負担を軽減する観点から、被服の改善について貴支部と協議してまいりたいと考えていることから、ご理解とご協力をお願いしたい。

以上で、本日の交渉を終了する。